

2025年2月4日

2024年度美容師衛生講習会

美容所において発生しやすい害虫・害獣

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会

技術教育委員会

株式会社FHS 金子 智宏

トコジラミ



トコジラミとは

- ▶ シラミと名前がついていますがカメムシの仲間
- ▶ 別名「南京虫」
- ▶ 人やペットなど動物の血を吸う
- ▶ 体調 5 mm程度、褐色、濃褐色の丸い形状



▶ 好む場所

- 暖かく暗い場所・ベッドや家具の隙間
- 夜になると這い出てきて、露出した部分を刺す

▶ トコジラミに刺されると

- 赤や紫の発疹や強いかゆみが出る
- 症状がひどい場合は発熱する事もあります



▶ トコジラミは**繁殖力と生命力が強い**

- 1匹のメスが一生で500個以上の卵を産む
- 1年近く吸血しなくても生きていられる
- 狭い場所を好むため、コンセントや壁の隙間・ベッドやイス、絨毯などの裏、長期
- 間置いたままになっている見開きの雑誌などに隠れ、卵を産み付けている事が多い



▶ トコジラミの寿命

- 幼虫約 1 ～ 3 か月程度
- 成虫約 1 年程度
- 幼虫期も含め、約 1 年 3 か月程度

▶ 営巣快適温度

- 部屋の温度が約 25 度、湿度 65%



▶ 発見方法

- 刺咬症の発見
- 血糞
- 脱皮殻

なぜトコジラミは発生する？

▶ 発生原因

- ・ 海外から買い付けた物資・ビジネスにより海外から持ち込んだもの
- ・ 旅行先などの宿泊施設での付着
- ・ 福祉施設などでの整髪

トコジラミは荷物や人に付着して潜り込んで一緒に移動をします

インバウンドの影響も

- ▶ コロナ禍が終わり、外国人観光客もかなり増えてきています
- ▶ 訪日外国人2024年度は3500万人を超える
- ▶ 2025年には4000万人 日本的人口3分1の人が訪日する
- ▶ 検疫などは行っているが小さい虫などは紛れ込んでしまう

- ▶ 令和4年10月には入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行客の入国も解禁されるなど、観光客数の回復に向かった一年となり、全ての施設で前年を上回る結果となりました
- ▶ 人流が多くなればトコジラミの持ち込みリスクは高くなるため注意が必要です



▶ 海外での状況

- 世界各国でトコジラミの急増が社会問題化
- フランスでは9月から高速鉄道や地下鉄の車内での目撃情報が相次ぎ、10月に政府が駆除に向けた対策を指示しています。
- 韓国でも全国各地でトコジラミが発生
韓国語でトコジラミを意味する「ビンデ」と「パンデミック」を組み合わせて「ビンデミック」と言われています

理容、美容院が関係したトコジラミ事例

▶ ケース 1

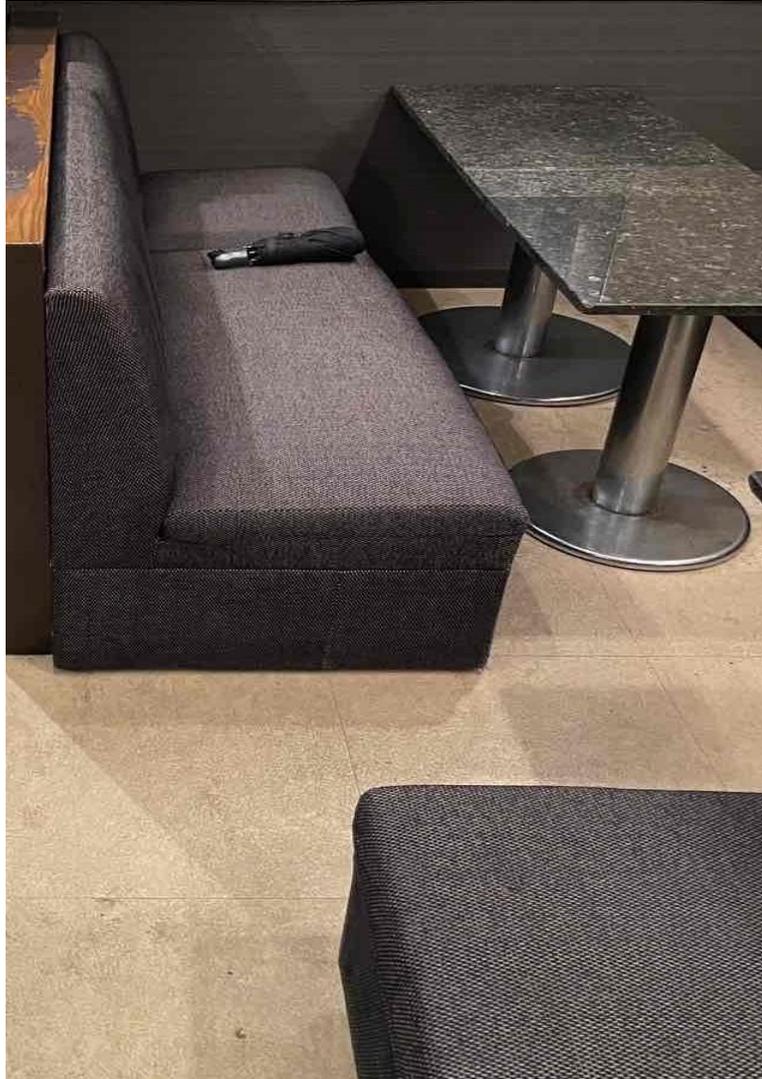
- ▶ トコジラミ駆除のご依頼を受けご自宅を訪問したところ、トコジラミが大量発生をしており2DKのアパートで全ての部屋で昼夜を問わずトコジラミが活動している状態でした。寝たきりのご老人がいらっしゃるご家庭で、動けないその方は常にトコジラミが大量についている状態です。薬剤の散布を行うためにはその方を施設などに移動していただく必要がありましたがその状態では受け入れてくれる施設はなく、移動するためのタクシーにさえ乗せてもらえない状況でした。頭にも大量にトコジラミが付いていたため散髪をお願いしましたが、断られてしまったため、先ず移動介護入浴サービスを依頼し、入浴後に髪を短くカットしていただき全体にトコジラミがないことを確認してから施設への搬送を行いました。

理容、美容院が関係したトコジラミ事例



- ▶ ケース2
- ▶ 美容室内の待合のソファにトコジラミが発生。お預かりした手荷物を入れるロッカー内にも発生していたため、手荷物にトコジラミが付着してそれが落ち、繁殖してしまった可能性が大きいと思われます。

意外な発生場所



トコジラミを発見したら

- ▶ 一般的な殺虫剤が効かなくなっていて、バルサンなどの呼吸器からの薬剤も効果が低くなっている
- ▶ 本体を見かけた場合は繁殖を防ぐために掃除機で吸い取り、ビニール袋などで密閉した状態で捨てましょう
- ▶ ソファなどでカバーが付いているものは洗濯が好ましいです
- ▶ 完全駆除が難しい昆虫ですので基本的には専門業者への依頼をお勧めします

チャバネゴキブリ



チャバネゴキブリとクロゴキブリの違い

	クロゴキブリ	チャバネゴキブリ
成虫の大きさ	3 cm～4 cm	1 cm～1.5 cm
成虫の体色	黒褐色	赤褐色
1回の産卵数	15～30個	30～40個
成虫までの期間	約9ヶ月前後	約3ヶ月前後
行動範囲	広い	狭い
巣の場所	屋外が多い	屋内が多い

チャバネゴキブリ



▶ チャバネゴキブリ

- 寒さに弱く、屋内の電化製品の常に暖かい場所を巣とすることが多い
- 行動範囲は狭く、一番行動するオスの成虫でも巣から半径5mほど
- チャバネゴキブリを発見した場合は、**その場所の近くに巣がある事がほとんどです**
- 繁殖のスピードも非常に早い
- 放置すると色々な場所が巣となり、大量発生してしまいます

チャバネゴキブリの特徴

▶ チャバネゴキブリの生態の特徴として

- 大発生しやすい
- 大型のゴキブリは発育速度が遅いため1年以内に成虫になりにくい
- **チャバネゴキブリは小型で発育速度が速く、1年の間に2世代以上繰り返します**
- **チャバネゴキブリが定着してしまった施設などでは大発生しやすいので、早めの駆除や対策が大切です**

チャバネゴキブリの発生原因

▶ 発生原因

- ・ 食べ物や水分の供給源がある
石鹼や髪の毛など好き嫌いなくなんでも食べる雑食性
- ・ ゴキブリの強い生命力
水一滴あれば数週間は生き延びられるほど・・・
- ・ 暗く湿った環境があること
- ・ 室内は隠れる場所が豊富

チャバネゴキブリ予防対策

1. 出入り口や窓の隙間を埋める
2. ゴミは密閉してこまめに捨てる
3. 段ボールや新聞紙、雑誌は貯めずにこまめに捨てる
4. 換気扇や通気口にフィルターをつける
5. 鉢植えの水受けをこまめに捨てる
6. 定期的に防虫剤を設置する
7. 整理整頓清掃を心掛ける

クロゴキブリ



▶ クロゴキブリの特徴

- 寒さに強い
 - 下水道など屋外を巣の場所とする事が多い
 - 成虫のオスは行動範囲が広く1日に20~30mくらい移動します
- 一般家庭や食べ物を扱わない店舗で発生するゴキブリのほとんどはこのクロゴキブリで、外からの侵入の原因が多いです
- 対策としてはクロゴキブリの巣の根絶を考えるのではなく、外からの侵入をいかに防ぐかが重要になります

飛来昆虫など



なぜ虫は夜電気に集まってくるのか？

▶ 虫が集まる原因

- 電灯の周りに集まってくるのは、走光性が原因です
- 人の目には見えない紫外線を虫たちは見ることができ、夜間虫の目に見えるのは紫外線という光だけなのでまっすぐ電灯に向集まってきます
- 建物から発する光に誘引されて飛来する不快な虫として、羽アリやユスリカやガ類
その他多数種

ユスリカ



▶ 特徴

- ・ 生息地は湖や河川の近く
- ・ 成虫の発生時期は初夏から秋の終わり頃
- ・ 小さな虫の大群「蚊柱」を形成する
- ・ 蚊のように人間の肌を刺して吸血することはない種類
アレルギーとなる死骸やその粉末を吸入してしまった場合には
ユスリカ喘息を引き起こすことがあります。

クロバネキノコバエ



▶ 特徴

- ・ 体長1～6mm程度のキノコバエという虫の一種です
- ・ 体長が小さく、小さな隙間から室内に侵入することがあります
- ・ 薄暗く暖かい湿度の高い環境を好む

発生場所は、**観葉植物に使用する腐葉土**など

カメムシ



▶ 特徴

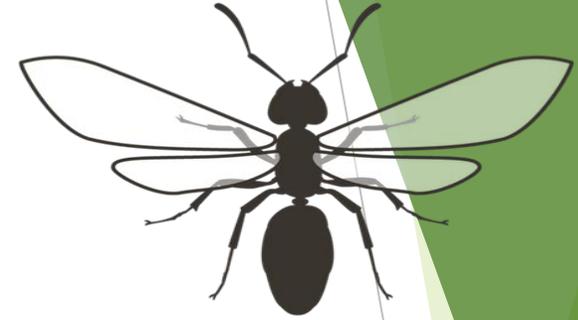
- ・カメムシは1年を通して発生します(特に4月～10月)
- ・越冬可能な昆虫
成虫が初夏に産卵し梅雨明けや夏後半には数が増えます
- ・触れると刺激臭がする
洗濯物のタオルに付着したまま取りこんでしまうことも

蟻（羽アリ）



▶ 特徴

- ・アリに羽の生えた状態の総称です
- ・新しい巣作り（繁殖）の際に発生
- ・高温多湿となる時間帯に街灯や電灯に集まります



	シロアリ	アリの仲間 クロアリ
翅の形	4枚が同じ大きさ	前翅が大きく後翅が小さい
翅の模様	網目模様が薄い	網目模様がはっきり
触角	直線的で数珠状	くの字型で棒状
胴体	クビレがなく寸胴	クビレがあり頭部・胸部・腹部に分かれる

LEDには虫が寄り付きづらい？

- ▶ LEDには、紫外線がほぼ含まれないものと、含まれるものがあります。
 - ①青色LEDを主体として黄色を発光する蛍光体を組み合わせ、白色を生み出す方法
 - ②赤、緑、青、三色のLEDを組み合わせ、光の三原則により白色を生み出す方法
 - ③近紫外LEDまたは紫色LEDによって赤、緑、青の蛍光体を光らせる方法
- ▶ 紫外線が出るのは、③の方法で殺菌灯など特殊な用途にしか使われていません。一般的に使われる白色のLEDは青色LEDを主体としていて紫外線量が蛍光灯の約200分の1しかないため、虫が寄ってきにくくなっています

飛来昆虫などの予防方法

- ▶ 照明にLEDを使用する
- ▶ 出入り口などを開け放しておかない
- ▶ ガラスに紫外線カットフィルムを張り付ける

捕虫器の設置



- ▶ 店舗内入り口周辺に捕虫器を設置することも有効です
- ▶ 間接照明のようにぱっと見では分からないようなデザイン性の高い捕虫器もあります

アタマジラミ



▶ 特徴

- ・人の頭髪にだけ寄生して、吸血をする
- ・成虫は2~4ミリ大で灰色か黒灰色
- ・頭皮のひどいかゆみや湿疹などを生じさせる寄生虫症です
脚で頭髪にしがみついて動き回ります。成虫・幼虫どちらも吸血します
- ・卵は0.5ミリ大の白色で、1週間から10日で孵化します
- ・頭髪を離れ、吸血をしないと約3日間で死んでしまいます

感染の原因

▶ 原因は

- ・ 不潔だから感染したわけではない
- ・ アタマジラミに感染している人の頭と非感染者の人の頭と接触
- ・ 感染している人の身の回りの物の共有（寝具・帽子・タオル・ブラシなど）
物を介してアタマジラミが別の人の頭に移動します

▶ 子供たちの中で集団発生する事も

- ・ シラミは、毛と毛が直接接触してこすれあった時にうつります
お子さん同士で頭をくっつけあって遊ぶことが多いので感染率が高くなります

対処方法

▶ 対処方法

- ・ 念入りな洗髪を行う
- ・ 梳き櫛をして成虫、幼虫以外に卵を取り除く
梳でとく際に、成虫が周囲に飛び散らないようにレインコートを着せ、ビニールシートを床に敷く
- ・ クシ・タオル・衣類などは専用のもの
- ・ シラミ駆除薬を使用する(スミスリンシャンプー)
シラミ対策製品はいくつかのものが販売されています

ネズミ



ネズミの種類と特徴

ネズミの種類	ドブネズミ	クマネズミ	ハツカネズミ
体長	22から26センチメートル	15から23センチメートル	6から9センチメートル
体重	200から500グラム	120から250グラム	10から30グラム
特徴	耳が小さく、尾が胴より短い	耳が大きく、尾が胴より長い	耳が丸く大きい、尾は胴より短い
色	背は灰褐色、腹・尾・手の甲は白っぽい	背は黒から茶褐色、尾は黒、手の甲に毛、腹は黄	背・尾は黒から褐色、腹・手の甲は白っぽい
性格	どう猛	神経質	
活動場所	下水道、植込、床下など水分の多い場所	天井裏・壁の中など、高くて乾いた場所	物置、納屋など他の種が入らない場所
行動パターン	主に水平（横）行動	主に立体的（縦）行動	忍び込み
繁殖期間	生後3か月から2年位	生後3か月から2年位	生後約35日
妊娠期間	約25日	約21日	約20日
分娩回数	年間5から6回	年間5から6回	年間6から10回
産仔数	1回に平均約9匹	1回に平均約6匹	1回に平均約6匹
寿命	約3年	約3年	1から1.5年

ネズミの習性

- ▶ 習性
 - ・基本的に夜行性
 - ・寒さに弱い
 - ・行動範囲は意外に狭い
 - ・雑食性
 - ・常に歯が伸びる

ネズミによる被害

▶ 被害

- ・ 柱、扉、壁、家具、電気のコードやガスホースをかじる物理的被害
- ・ 天井裏を走ったり、ものをかじる騒音被害
- ・ 不快感や恐怖感によるノイローゼになるなど精神的な被害
- ・ サルモネラなど食中毒菌や雑菌による衛生的な被害
器具などの汚染には気をつけなければなりません
(感染症の流行はありません)

ネズミの侵入経路

- ▶ ネズミは何処から
 - ・ 出入口（侵入口）は、小さな隙間であることがしばしばです
侵入できる隙間の大きさは、子ネズミで、1.5センチメートルの幅（大人の指が大人のネズミでも2.5センチメートルあれば十分といわれています）。
 - ・ 一般的に木造建築は内壁と外壁、天井と床のように壁が二層構造
柱組みの隙間や水道・ガス・電気などの配管を通すスペースなどがあります

コロナ禍を経て、にぎわいは戻りつつある一方で「街中にネズミが増えている」

- ▶ 千代田区は今年度から、区内の繁華街などに出没するネズミの本格的な実態把握に乗り出している。増え続ける区民らからの苦情や相談に対応したもので、駆除と並行して区内100地点にエサを入れた箱を設置するなど、約3年かけて生態を調べる。
- ▶ 新宿区の吉住健一区長は「ネズミ対策として重点対策地域である歌舞伎町一・二丁目を対象に、ネズミの環境調査及び一斉駆除を実施し。」

コロナ禍を経て、にぎわいは戻りつつある一方で「街中にネズミが増えている」

- ▶ 横浜市中区では当協会が委託を受け鼠族の生息調査、防除作業を行っており対象エリアの住宅や店舗周辺でも鼠族の被害が多く見られます
- ▶ このように被害の多いエリアでは大規模に駆除が必要になるほどネズミが増えています

環境調査にはゴミの排出状況を重要視しているものもあり、建物周辺の衛生環境改善がネズミ予防に対して必要となります

店舗にネズミを侵入させないために

- ▶ 建物周辺の衛生環境の改善（ゴミ捨て場の清掃やポリバケツを使用してネズミに食べ物を与えない状況を作る）
- ▶ ネズミは警戒をしながら物陰を移動していくので、建物周辺に物などを置かずネズミの動線を作らないようにする。
- ▶ 小さな隙間でもネズミは侵入可能ですので油断せずに隙間の閉塞、修繕を行う。
- ▶ 扉は必ず開けっ放しにしないようにする。

まとめ

- ▶ 藤沢市は神奈川県内でも屈指の観光地
- ▶ 害虫・害獣の被害の報告が増加している
- ▶ 思わぬところから被害を受けて損害が発生するかも知れません
- ▶ 周辺にも目を光らせ、万が一時の対応を準備しておく